

平成20年度「専修学校を活用した再チャレンジ支援推進事業」成果報告書

事業名	地元企業と連携し、地域密着型のマイスター制度を構築し、若者の就業意欲向上とキャリアアップを図るための再チャレンジ支援プログラム開発について		
法人名	学校法人 大岡学園		
学校名	大岡学園高等専修学校		
代表者	理事長 大岡 豊	担当者 連絡先	瀧下 尚子 TEL:0796-22-3786

1. 事業の概要

当地はかぼんの特産地であるが、製造業を中心に、技術の伝承が難しくなるなかで、高い技術・技能を維持発展させたり、地域の観光、環境資源を活用したサービス業において高い専門性を有した人材を確保、育成するために「マイスター制度」(かぼんづくりマイスター、こうのとり環境マイスターなど)の構築を図りつつ、早期離職者など若者を中心に一層のキャリアアップ、就業意欲向上を図りながら、高い技術と知識を有した人材を育成するための再チャレンジ支援システムの構築を目指し教育プログラム開発を行った。

2. 事業の評価に関する項目

①目的・重点事項の達成状況

若者早期離職者など、再チャレンジを目指す人たちを対象に、こうのとりをはじめとする地域の環境、観光資源を活かして「こうのとり環境マイスター制度」、また地元の産業であり、数多くのかぼん企業と連携しての「かぼんづくりマイスター制度」の研究・教材開発を行い、実証講座を行ない、実践的な活動を行なった。また、企業アンケートについても多くの回答いただき、効果的なテキスト・教材が完成した。実証講座において特に若者の就業意欲向上には、個人の意識向上がまず必要といえ、キャリアカウンセラーによる講座とテキストはかなり役立つものと思われる。

②事業により得られた成果

地方都市の中小企業にとって、高度な技術・知識を持った人材確保、育成は非常に大きな課題である。特に当地域のこうのとり、自然環境資源など観光・環境人材、また特産品のかぼん産業においてデザイン・製造に関わる人材における、技術・知識を修得するための教育プログラムを検討し、企業における人材育成プログラムを含めた支援システムの第一歩が見出されたと考えられる。地域・企業との連携に基づき、「こうのとり環境マイスター」「かぼんづくりマイスター」の地域密着型マイスター制度について研究し、早期離職者をはじめ若年層の再チャレンジに関する教育プログラム、地域・企業での体制づくりを含めた支援プログラムの基礎が固められた。マイスター制度に関しては、従来から、地元のかぼん・観光業界が研究されている経過もあったが、個別企業においては、技術レベルなどに合致した優秀な人材確保、国産技術の継承・高度化などの視点から、独自の取り組みがなされ、今後一層多くの企業における人材の定着、育成にも寄与するものと確信している。こうのとり環境マイスターに関しては、こうのとりを観光、環境資源とする行政での計画、起業が増加しており、さまざまな角度で人材需要も増加してくるものと思われる。この教育・支援プログラムは、各専門分野においても活用できる可能性があることから、全国的に各地で活用されていくものと推察される。

③今後の活用

こうのとり環境マイスター制度、地元の産業であるかぼんづくりマイスター制度をさらに一層研究し、若者の就業意欲向上へ役立つよう広く周知し、またさらに研究・開発を重ねていきたい。また、キャリアデザインのテキストについては本校学生・生徒はもとより、関係する職種を希望する若者等への教育プログラムに活用し、就業意欲向上を図るための教育プログラムの充実に努めていきたい。

④次年度以降における課題・展開

本年度研究・開発して得た教材を踏まえ、さらに研究・開発を進め、若者の就労意欲向上と再チャレンジ支援を続けていきたい。また、ハローワークと連携し本校でのキャリアカウンセリング講座など実施できるものは広く活用してもらえようさらなる展開を考えている。そして企業との連携を強め、インターンシップを体験しながら就労意欲向上をも図りたいと考えている。

かばん関係に関しては、今回のテキストを基礎としてさらに具体的且つ効果的な教育プログラムを構築し、若者を中心に講座を行なうことは非常に重要である。

こうのとりの環境・観光に関しては、地域でのネットワークが必要不可欠であり、「こうのとりの環境ガイド」人材育成を含め、専修学校が一つの核となった展開をしたい。

3. 事業の実施に関する項目

①履修証明書等

対象となっておらず発行できませんでした。

②カリキュラムの内容

企業が求める人材像を目指して研修を構築する一方で、自らをしっかりと見つめなおし、就労の重要性を中心にカリキュラム構築を行った。再チャレンジへの支援を眼目に、インターンシップへの取り組みに際して、事前・事後に個別のキャリアカウンセリングを実施し、意識づけをおこなった。また、こうのとりに中心にした「環境マイスター制度」と地元の産業である「かばんづくりマイスター制度」のためのカリキュラムの策定を目指し、人材育成プログラムを考え、実証講座に結びつけた。

③講座の実施

こうのとりの環境・かばんづくりの2つの講座を同時期に行った。まずは、全員に対して両方の概要説明をした。その後、キャリアカウンセラーによる就労意欲向上のための「自分を見つめなおす」などのキャリアデザインに関する基本的な講座を行った。その上で、それぞれの希望、適正を鑑み、こうのとりの環境コースとかばんづくりコースに分かれ、さらに詳しい講座を実施後、それぞれの分野でのインターンシップを経験した。インターンシップ後には、キャリアカウンセラーによる個別カウンセリングなど、就労に対する更なる意識づけを行い、自己を振り返り、今後の再チャレンジへの道へつなげた。

④支援対象者(受講者)の状況

実際にいろいろなかばんづくりの工程やこうのとりの文化館ほか環境を考える場を自分の目で見て考え、そしてキャリアカウンセラーとの個別カウンセリングを受け、ただ単に技術を身に付けることであったりするばかりでなく就労意欲など、意識の上でかなり変わった、とても役に立ったという感想を述べた受講生が多かった。